

各種支援制度

研修支援

■新規就農者育成総合対策事業【就農準備資金】(国事業)
研修期間中の所得確保対策として、年間150万円を交付します。
対象者 50歳未満
交付期間 1年～2年
交付額 150万円/年

■田辺市新規就農者育成支援事業(市事業)
研修期間中の所得確保対策として、年間最大132万円を交付します。
対象者 50歳～60歳
交付期間 6ヶ月～1年
交付額 7万円/月(田辺市への移住者 11万円/月)

就農支援

■新規就農者育成総合対策事業(国事業)
【経営開始資金】就農直後の経営確立を支援するため、年間150万円を交付します。
対象者 50歳未満(認定新規就農者)
交付期間 最長3年
交付額 150万円/年 ※夫婦で共同経営する場合は1.5倍(225万円/年)
【経営発展支援金】就農後の経営発展のために必要な機械・施設の導入等を支援します。
対象者 50歳未満(認定新規就農者)
補助率等 3/4 上限750万円
ただし、【経営開始資金】と併用する場合は上限375万円

■青年等就農資金
農業経営の開始に必要な機械・施設の購入等に必要な資金を無利子で貸付けます。
償還期限 12年以内
据置期間 5年以内
貸付限度 3,700万円

規模拡大支援

■経営継承・発展支援事業(国事業)
経営発展に向けた取組を支援するため、最大100万円を交付します。
対象者 地域農業の担い手から経営を受け継いだ
交付額 100万円(経営発展に向けた取組に要する経費)※国1/2、市1/2

■田辺市施設園芸総合支援事業(市事業)
複合経営による所得安定化を図るため、農業用ハウスの設置に対して、経費の一部を補助します。
対象者 農業次世代人材投資資金受給者
補助率 1/3以内 ※新規就農者の場合1/2以内
限度額 100万円 ※新規就農者の場合150万円

■農地中間管理事業
和歌山県農業公社と県内全JA等の関係機関が連携し、規模縮小農家等から農地を借り受け、規模拡大したい担い手農家や新規就農者へ農地の集積を進めます。
農地を「貸したい方」と「借りたい方」の間に農業公社が介在するので、安心して農地の貸し借りが行えます。

◆新規就農に関するお問合せ先◆

紀州田辺新規就農者育成協議会
(事務局) 田辺市役所農業振興課
〒646-8545 和歌山県田辺市新屋敷町1番地
TEL 0739-26-9930【直通】
E-mail nougyou@city.tanabe.lg.jp
ホームページ http://www.city.tanabe.lg.jp/

◆移住・住居に関するお問合せ先◆

田辺市役所たなべ営業室
〒646-8545 和歌山県田辺市新屋敷町1番地
TEL 0739-33-7714【直通】
E-mail tanabe.eigyuu@city.tanabe.lg.jp
ホームページ https://tanabegurashi.jp

田辺市で農業を始めてみませんか

田辺市で農業を始めたい人 応援します

田辺市では「紀州田辺新規就農者育成協議会」を立ち上げ、農業を始めたいという人を応援しています。この協議会では、U・I・Jターン等による新規就農希望者と研修受入農家の結びつけを行い、実践的な農業技術研修を通じて円滑に地域農業の担い手になれるよう支援を行います。



世界文化遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」と世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」のW世界遺産を有するまち

総面積 1,026.91 平方キロメートル
総人口 70,321 人(2022.4末)
男 33,046 人
女 37,275 人
世帯数 35,032 世帯

■田辺市へのアクセス■

飛行機/東京(羽田)から南紀白浜空港、または関西国際空港から電車で田辺へ
電車/京都・新大阪・天王寺から直通の特急電車が
自動車/大阪からの阪和自動車道・南紀田辺ICでお降りください



▲紀州のブランド「南高梅」

▲紀州の黒潮に育まれた木熟みかん

和歌山県田辺市

田辺梅林

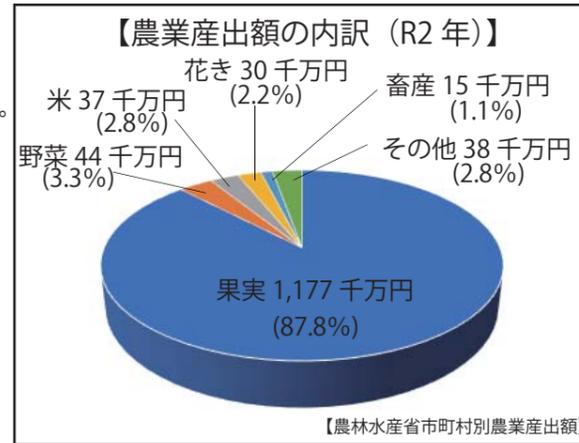
田辺市の農業

田辺市の農業は、沖に黒潮が流れる紀伊水道に面した海岸部から紀伊山地の山間部まで広がり、年間平均気温は海岸部では16.9度、山間部では13.5度、また年間降水量1,617mmから2,749mmとなっています。

海岸部では、この温暖湿潤な気候を活かした果樹栽培が盛んで、特に梅の産地として有名ですが、温州みかんや晩柑類、スモモなどの生産も盛んです。

全国に誇る梅は約28,000トンを生産しており、生果として全国の市場へ出荷されるとともに産地では梅干し等に加工しております。特に完熟した南高梅を使用した紀州梅干しは、健康食品としてよく知られております。また、温州みかんは古くから盛んで、9月中旬から出荷がはじまる極早生品種から完熟品種、近年では中晩柑品種から晩柑品種まで豊富な品種を栽培しており、1年を通じ豊富な果樹を全国に出荷しております。

山間部では、水稲を中心として野菜・果樹が栽培されているほか、豊かな自然と温暖な風土に生まれ育った県産黒毛和牛種「熊野牛」があります。



新規就農支援体制（研修制度）

先進農家のもとで、円滑に就農できるよう本格的な研修が受けれます。

就農相談

田辺市は、新規就農相談窓口として、農業を始めるにあたって必要となる栽培技術や経営管理等の研修に関することや農地の斡旋、資金面など新規就農希望者の相談に一元的に対応します。

マッチング

協議会には、梅・みかんをはじめとする多様な研修受入農家が参画しており、新規就農希望者が就農に必要な技術等を習得できるよう研修受入農家とのマッチングを行います。

実践研修

先進農家のもとで就農に向けた実践的な研修を受けていただき、栽培・経営技術を学ぶとともに、地域に馴染みながら農地の確保等、就農の準備を進めていきます。(研修品目 梅、柑橘類、苺、野菜、水稲、畜産(牛))

就農

今後の地域農業の担い手として定着していただき、各種補助制度を活用しながら、規模拡大や高品質化など、さらなる農業経営の発展を目指してもらいます。

農産物（特産品）

南高梅



梅は、古くから寒さに耐え春を告げる愛らしい花として、また、健康によい食べ物として田辺市の伝統文化や歴史とともに育まれてきました。

紀州梅の代表的な品種のひとつ「南高梅」は、梅生産量日本一を誇る和歌山県を代表する品種です。紀州和歌山のブランド梅であるだけでなく、梅のトップブランドとしてその名は知られており、果実は非常に大きく、種は果実のわりに小さめであり、果肉が厚くて柔らかいのが特徴です。

柑橘



田辺市のみかん(柑橘類)は、梅と同じく古くは江戸時代、田辺領主・安藤家が奨励した「安藤みかん」が元祖と言われており、現在のみかんは梅と並ぶ田辺市の特産品です。

当地域の柑橘類は黒潮の恵みと紀伊半島南部の暖かい日差しを存分に受けて育つことから、ほどよい酸っぱさと濃厚な甘みが調和し、すっきりとした味わいが人気です。

また、極早生温州をはじめ、早生温州をじっくり樹上で熟させた木熟みかん、ポンカン、デコポン、はっさく、甘夏などの晩柑類まで、年間を通じて様々な品種が栽培されています。

まりひめ



「まりひめ」は、和歌山県農業試験場が育成し、平成22年3月に品種登録された、和歌山県オリジナル品種です。

早生で豊産性の「草姫」とコクのある食味の「さちのか」を交配し、得られた約600個体から品質、収量とも有望な系統が選抜されました。「まりひめ」は、和歌山県の民芸品「紀州てまり」のようにかわいらしく皆に愛される品種となることを願って命名されています。

熊野牛



「熊野牛」は、その名のとおり和歌山県南部「熊野地方」で昔(旧藩時代)から飼われていた和牛で、農耕用の貴重な労働力として活躍していました。

元々優秀な能力と由緒を持っている熊野牛は、選び抜かれた血統を取り入れた改良により和歌山県特産の黒毛和種として平成3年にブランド化されており、その肉質は、きめ細やかでやわらかく、肉そのものの風味に優れています。

研修カリキュラム（代表的な作物）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
梅 (南高)	剪定		防除・除草等			収穫		梅干し(天日干し)				剪定
温州みかん (早生)			剪定・除草		防除		摘果					収穫
苺 (まりひめ)			収穫						定植	管理		収穫